

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立西濃高等特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月7日(金)
- 3 開催場所 本校 会議室
- 4 参加者

会長	堀 富士夫	大垣観光協会 副会長
副会長	足立 敬子	大垣商工会議所女性会 会長(書面参加)
委員	卯田 貴大	大垣青年会議所 理事長(代理者参加)
	野崎 重光	大垣市日新地区センター 館長
	山下美智恵	西濃障がい者就業・生活支援センター 所長
	大橋奈麻輝	大垣市社会福祉協議会 事務局長
	伊藤 哲也	大垣市くすのき苑 所長
	野村 昌代	本校 PTA会長
学校側	樽井 良和	校長
	西脇 熱士	教頭
	加藤めぐみ	事務長
	篠田 裕之	部主事
	曾根 良子	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和4年度前期の学校運営について
- (2) 学校評価の集計結果について
- (3) 販売製品の価格設定について

(新規提案分)

スツール(特注品) 5,500円

フィナンシェ 80円

上記:いずれも適正価格であると承認が得られた

- (4) 県立学校体育施設の開放について
- (5) 後期の学校行事計画について

6 委員からの意見

意見1：学校評価アンケートをWEB集計方式で行うことは「働き方改革の推進」という点においてたいへん好ましいことである。回答率の低下はいたし方のないところである。当法人でもアンケート調査をたびたび行うが、その運用上の経験値として得られたことに、回答していない群は調査に対して概ね好感をもっていると推定されることがあげられる。そのため、集計の際にはこの点について考慮してデータを解析することが望ましいと考える。

意見2：学校評価アンケートの回答結果は気になると思うが、ぶれることなく（学校経営の）軸をもって進めてほしい。柔軟に対応することも大切だが、経営の軸が大切である。

意見3：施設開放は、施設管理の面やコロナの対応という点で難しい対応が迫られる。学校にあまり負担にならないような形で使えるようになるとよい。できそうなところからやれると良いが、実際に行っている学校などから先行事例としてのアドバイスもらうと良いのではないか。

意見4：教育実践の様子から、日々の先生方の努力みられる。現在3年生が現場実習中であり、支援ワーカー7名が巡回を行っている。途切れのない支援を実現するために在学中から生徒を見させてもらっている。職場定着支援も行っているが、在学中から家庭との連携を密にしてもらい、その情報を支援機関に伝えてほしい。生活の基盤をしっかりすることで仕事が続けられるようになる。

7 会議のまとめ

第2回学校運営協議会を開催し、前期の学校運営状況の報告や各議題について協議した。専門コースの生産物価格について全委員からの承認が得られた。

今回は、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら、1年生の喫茶サービスの学習を参観してもらうことができた。コロナ禍における学習の深化が危ぶまれる状況下ではあるものの、指導の成果について高い評価を得ることができた。

今後は、学校評価アンケートの結果を踏まえ、情報発信を軸に学校運営の改善を図っていく所存である。